

会議録報告書

会議名	令和2年度第1回 愛荘町立図書館協議会会議録（発言要旨）
開催日時	令和2年（2020年）7月8日（水） 午後7時30分～午後8時30分
開催場所	愛荘町立秦荘図書館
出席者	委員 安孫子 雅城、大辻 登代子、辻野 ミト子、西澤 基治、西村 知子、野村 仁美、原田 一宏、村田 賢司
事務局	図書館長 茶谷 えりか 図書館参事 小川 亜希子 図書館課長補佐 下村 今日子、三浦 寛二
傍聴者	0人
議題	(1) 図書館協議会会長、副会長選出 (2) 前年度図書館利用状況、行事实施状況、今年度行事予定について (3) その他
審議内容	<p>(徳田教育長挨拶（茶谷館長代読）)</p> <p>(委嘱状交付)</p> <p>(各委員、事務局職員紹介)</p> <p>(事務局)</p> <p>愛荘町立図書館協議会は、愛荘町立図書館条例および愛荘町立図書館協議会規則により運営されております。この要綱によれば、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とあり、委員10名のうち本日のご出席は8名であり、会議が成立しております。</p> <p>また、今回は2年任期の初回の会議となります。開会にあたり、会長と副会長の選出をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西澤委員を会長に選出</li> <li>・安孫子委員を副会長に選出</li> </ul> <p>(会長、副会長着席)</p> <p>それでは、会長と副会長に議事進行をお願いします。</p> <p>(西澤会長)</p> <p>それでは議案2、令和元年度の図書館利用状況と行事实施状況、令和2年度の行事予定について事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>愛知川図書館の昨年度の利用状況をお伝えします。昨年度は前々年度に比べ、両</p>

館で貸出冊数が増加しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館したことから、全体の貸出冊数は減少していますが、4月5月では開館日1日当たりの貸出冊数は増加し、開館日1日当たりの来館者数は減少しており、来館自粛要請の効果が見られます。6月の利用状況は貸出し冊数が減少しています。

(事務局)

今年度より町内全小学校の学校図書館へ週5日間図書指導員を置き、朝8時から午後3時までの学校図書館の開館を実現しました。これにより、読書を支えるとともに、授業での学校図書館の活用を目指しています。

(事務局)

今年度の事業として、愛知川図書館20周年、秦荘図書館25周年として、渡部元館長をお呼びして愛荘町の図書館の未来を考える行事や、絵本原画展などを予定しています。

(西澤会長)

学校図書指導員は司書資格は必要ないとのことですが、将来的には司書の資格を取得し専門性を高めてほしいと思います。

(委員)

ボランティアの月のくまさんで愛知小を訪問した際に、図書室に図書指導員の岡村さんが在室されており、これまで閉まっていた図書室が開いているのが印象的でした。朝から数名の児童が図書室を利用しており、とてもよかったですと思います。

(事務局)

本を借りることはもちろん、授業での活用も増えており、学校での読書と資料提供の役割を果たしたいと思います。

(西澤会長)

会計年度職員での採用ですか。ぜひ継続してこの事業は続けてほしいです。

(委員)

学校図書指導員が司書資格を取得することは可能ですか。

(事務局)

図書館から取得することを強制はできませんが、既に司書資格をお持ちの方もおり、町立図書館の司書職員がサポートしてゆきたいと思います。

(安孫子副会長)

新型コロナウイルスの休館中の取り組みですが、本の福袋がとてもよかったです。そのほかに休館後の利用者増加に向けての取り組みを教えてください。

(事務局)

これまで休止していた愛知川図書館古文書教室を7月から再開します。また、音読教室はおうちでできる形でテキストを配布します。

おはなし会などは子どもが来館するため、現在のところ再開時期は未定です。

(委員)

渡部元館長さんが来られるとのことですが、ライブラリー・オブ・サ・イヤーを再び受賞することを目指すことはありませんか。

(茶谷館長)

ライブラリー・オブ・サ・イヤーはこちらから手を上げて受賞するものではないので難しいと思います。

(委員)

新型コロナウイルスの休館がありました。新型コロナウイルスが流行したからこそ考えたサービスや、図書館から攻めることを考えたりしましたか。

(事務局)

秦荘図書館の音読教室は、おうちで音読という方法で7月から再開しています。

(事務局)

3月に県内初感染例が出た際に当日に閉めた図書館もありますが、愛荘町の図書館は開館を継続し、県内の図書館でも臨時休館措置を講じたのは遅いほうでした。これは、できるだけ開館を継続することで資料提供を継続する方針であったためです。

臨時休館後は図書館職員も2班体制で在宅勤務が導入されました。その中で、防災無線を通じた朗読などの案が出ましたが、著作権法上の問題があり実現しませんでした。その後、5月13日から図書館は開館することとなり、現在に至ります。

(西澤会長)

休館中に予約本のみ受け渡すなどの方法はいかがですか。

(事務局)

対面となるため、完全に接触を防ぐため 5 月連休前後の臨時休館時には実施しませんでした。愛荘町の図書館は換気が可能なため、開館したほうが三密を防ぐことが可能ではないかと感じています。

(西澤会長)

すぐには元には戻らないと思います。試行錯誤しながら図書館を続けてください。

(委員)

借りた本を使うときや、使い終わったら手を洗うよう呼びかけをお願いしたいと思います。

(委員)

本をふき取るかどうかなど、他の図書館との情報交換はされましたか。

(茶谷館長)

県の公共図書館協議会がありますが、外出自粛期間は情報交換ははかどりませんでした。先日会議があり、ポスターなどの共有といった議題が出ました。

(事務局)

本のふき取りは、厚生労働省の病院向けのガイドラインを準用すると 1 冊に 1 枚のふき取り紙や布を使わなければならない、現実的ではありません。また、諸外国の例を見ても、本を介してウイルスが拡散した例は無いのではと思います。むしろ、三密を防ぎ、図書館がクラスターとなることを防止することが重要と思われます。

今回は県の要請もあり臨時休館しましたが、再開後は統計から推測すると利用者が増加します。開館再開後に大勢の利用者が来て三密の状態となるよりも、制限付きの開館を継続し利用者を分散させたほうが感染症予防になるのではないかと、とも思います。

(安孫子副会長)

ボランティアグループほんてつでビブリオバトルの開催を予定し、広報にも掲載してもらいましたが、今年度は中止となりました。今年度は愛知川図書館 20 周年、秦荘図書館 25 周年というメモリアルな年でもあり、ほんてつの活動はぜひ行いたいです。

(西澤会長)

びんてまりの講習会は実施しますか。

(事務局)

講習会のうち 2 つは中止となりました。2 月の町民対象の初心者講習会は実施予定です。

(委員)

ゆめまちテラスえちに置いてある本は、図書館からのものですか。

(茶谷館長)

図書館からまちじゅう読書の一環として設置していましたが、ゆめまちテラスえちに近江上部伝統産業会館が入居することから、3 月末で撤去となりました。

(西澤会長)

次に、その他の議案についてお願いします。

(事務局)

次回開催予定日ですが、11 月 18 日でいかがでしょうか。

(異議なし)

では、11 月 18 日予定でお願いします。

(西澤会長)

本日はありがとうございました。